

棚倉町立近津小学校 実践研究テーマ「自ら学び、表現する児童の育成～キャリア教育の視点を生かした授業実践～」

キャリア教育の視点を生かした国語科の授業実践 ～6年～

- 単元名 「私たちにできること」
- 本時のねらい
自分たちの提案を交流する活動を通して、伝えたいことを明確にすることができる。
- 本時の概要
カリキュラム・マネジメントの一貫として特別活動との関連を図り、児童会活動を充実させるために各委員会で提案するという活動を設定した。友だちとの交流を通して、提案内容を改善したり、自分の考えを深めたりできるようにした。

○国語科の授業で



ワールドカフェ方式にしたことで、自分たちの考えを説明したり、他の委員会へアイデアを出したりする活動が活発に行われた。



色別の付箋を活用し、アドバイス・質問・感想に分けて整理。話し合いの視点が焦点化され、交流を通して考えが深められたことが明確になった。

○特別活動や日常生活とのつながり



6年生からの提案



4・5年生との練り上げ



各委員会活動で実践

キャリア・パスポートを活用した学級活動(3)での取組 ～2年～

- 単元名 「学習発表会をふりかえろう」
- 本時のねらい
学習発表会での頑張りを振り返り、友だちと認め合うよさに気付くことができる。
- 本時の概要
キャリア・パスポートを活用した自己評価を行い、自分の頑張りを振り返ることができるようにした。さらに、友だちと互いの頑張りを認め合い、みんなで頑張るよさに気付くことができるようにした。

○授業の実際



互いに声をかけ合い、自分たちで練習できるようにした。一緒に練習してきたからこそ分かる友だちの頑張りをたくさん発見できた。



友だちの頑張りを付箋に書いて伝えたことで、互いのよさを共有することができた。友だちに認めてもらったことで、「頑張ってたかった」という思いにつながった。

キャリア・パスポートの一部

☆ふりかえろう！
5-1よくできた 4-1できた 3-1まあまあ 2-1まあまあ 1-1できなかった

中間発表会	5	4	3	2	1
学習発表会	6	4	3	2	1

＜がんばったこと＞すこしでも大きな声で話せたのがよかったです。
＜もっとがんばりたいこと＞つぎは、5に1けるように体づくがんの後ろまでとどくようにしたいです。
＜がんばったこと＞本日は大きな声で1体づくがんの後ろまで聞こえたと思います。3年生にもう1体づくがんの後ろまでとどく大きな声で話したいと思います。

中間発表会後に、一度振り返りを行い、自己の目標を捉え直した。これにより、行事後に自己評価を高めた児童が多く、達成感を味わうことができた。

本時のワークシートより

この日の練習、おつかいして、た。

「きみたちも、これはロバさんたちとそうなの、のどろろ大きな声で言えてすごいわ。」

かんそう
わたしたち、くん、ちゃんに1体づくがんの後ろまで話せたのがよかった。たどろろ大きな声で話したいです。

棚倉町立近津小学校

実践研究テーマ「自ら学び、表現する児童の育成～キャリア教育の視点を生かした授業実践～」

幼小中をつなぐ連携の在り方

○近津幼稚園との連携を図った学習活動



音読発表会に招待

【日常の学びの中で】

- 毎朝小学校を訪問「朝の元気タイム」
- 各教科等の学びと関連させた学習活動、行事
- 【例】国語科「音読発表会」
- 生活科「砂遊び」
- 体育科「マラソン記録会」



小学校の校庭でマラソン

【小学校わくわく大作戦】

- ①幼稚園で授業体験
 - ②新6年生が企画・交流学习
 - ③小学校で授業参観・体験
- 小学校生活へのスムーズな移行と最上級生に向けた期待と責任の高まりを目指し、幼小が計画的に連携してきた。



5年生のお兄さん・お姉さんと



授業は楽しそうだね

○棚倉中学校との連携を図った学習活動



運動会でボランティア

本校と連絡を取り合い、準備を進めてくれた中学生。2年ぶりの運動会で活躍する姿を見て、閉会式の感想発表では、6年生から感謝の言葉を伝えた。

【小学校で】

6年生へのアンケート、中学生が作成した資料を基に、中学校生活について活発に意見交換。



中学生と学級活動



先輩の授業を参観

「比例・反比例」「歴史上の人物」6年生の学習とのつながりに気付いた子どもたち。小学校の学習の大切さを実感できた。

【中学校で】

同じ町内の6年生と、中学校を訪問。学習発表を見たり、部活動を見学・体験したりする中で、中学生に向けての意欲を高めた。



憧れの眼差しで見学

日常の学びや体験を通して、育まれた子どもの力とその姿



インタビューしたことを紹介

・戦争体験をインタビューし、タブレットに収録
・戦争に関する資料を収集
社会科の学習をきっかけに、家庭でも探究的な学びが展開され、友だちと資料を共有する中で、学びが深まっていった。



貴重な資料に高まる関心



貴重な文化財を調査中

地域の豊かな人材、有形・無形の貴重な文化財を活用した学習を行ってきた。地域で活躍している方がたくさんいて、自分達を温かく支えてくれることが伝わり、子どもたちに「ふるさとを愛する心」が育まれる活動となった。



地域の伝統芸能を継承



熱心に飼育・栽培活動

毎日進んで飼育・栽培活動に取り組む子どもたち。異校種・学年との交流を通じて、人とのつながりの大切さを感じてきた。卒・入学式の会場に、種から育てた花を飾ろうと、感謝の思いを大切にしながら、栽培活動に挑戦している。



卒業生・新入生のために

○研究のまとめ

- ・国語科を中心に、「人間関係形成能力」に重点を置いて授業実践を積み重ねてきた。各教科等とも関連させながら、より具体的な視点で実践を充実させることができた。
- ・学級活動や学校行事において、キャリア・パスポートの活用を図ってきた。子どもたち同士の話合い活動、教師の対話的な関わりを通して、その効果を高めていくことができた。
- ・異校種間の連携、地域人材の活用では、これまでの活動を見直し、新たな学習活動も積極的に取り入れてきた。今後も地元の高校との連携や新たな人材の活用により、より質の高い体験活動になることを目指していきたい。